

なきごえ



1970

11

大阪市
天王寺動物園協会

チーターを飼って

日本万国博を3月15日にひかえて、3月3日アフリカのタンザニアから、空路にて伊丹に一つがいのチーターが贈られて来たのを受取りに行きました。私は昭和42年4月頃から、猛獣類の飼育にたづさわらようになりましたがチーターの飼育は初めてです。聞くところによると現在、多摩動物園のみに飼われているようで、当園に来たのも戦後2回目で、珍しい動物でもあるかわり、大変かにくい動物とか心持ち苦しいやら、楽しいやらですが一生懸命やってやろうと思っております。来た当時は生後3ヶ月位で、別々の檻に入れられ、近くによると、フーフーとふいて、一見性質は荒いのではないかも思っておりましたが、なんと恐怖心の強い動物だなぁと感じました。来た頃は3月のはじめごろで、まだ肌寒さを感じず頃だったので、一応温度の入るチンパンジー舎の訓練所で平均25℃~27℃位に保ってやるようにして、収容場が無いので、せまい檻生活が、当分続くのではないかと心配のたねの一つでした。来た当時牛乳や馬肉を与えましたが牛乳は少しも飲まず、馬肉は500g位ペロリと平げてしまい、安心しました。一日の食事は朝夕2回で、牝牝2頭で3kg1.5m角の檻に1頭づつ収容し、床に切ワラをしき、水飲鉢を入れ飼いはじめました。家にかえっても何か落つかず、一週間は夢のうちに過ぎ、たゞ食欲が旺盛なので頼もしく思っておりました。

たゞ日なたぼっこや運動不足がちになるので、強制的にチーターにクサリをつけると、チーター自身は興奮の余り強直状態をとり、排糞をしたり、歩くことも困難性を表わし、大変苦労しております。たゞ強直状態ながら首すじや、背なかをさすったりし、体重を計ると、牝8キロ牝7キロでした。2ヶ月位たっても、このような様子とはれず、無理に散歩させると、長い間の箱檻暮らしなので、じきに肢をいためます。ほとほと困っています。1日も早く広い収容場が出来ればと心待ちにしております。一度夜間



チーター

の観察をしたところ、夕方になると、お互の確認を得るためか、淋しいのか、ピュン、ピュンと高く短かく鳴きつゞけ、淋しさと愛らしさを感じさせられます。敏感な動物で少し足音をさせると、檻の中でゴソゴソ動いたり睡眠をさまたげるので、夜間の観察は余りよくないと思っておりましたので以後はやめました。日常は何等著変は認められませんが、やはり運動量に重点をおくべきだと痛節に感じられます。何か気に入らない時には、両前肢をやや高くあげて前に打ってかゝる様な姿勢をとったりします。他の猛獣類にくらべると、ひよわい感じが強いです。一ときも早く収容場が出来る様をお願いしておりましたが、やっと8月になって、収容舎が出来たので、早速2頭を放ってやると、初めのうちはやゝ警戒ぎみで食欲も減退を示したが、2~3日たつとなればじめ食欲も出て来て運動場では止り木によじ登ったり2頭でジャレたりしているのを見ていて、これで良かった、どうか元気で成長してくれるようにと祈っています。

(正木 時雄)

なきごえ11月号もくじ

チーターを飼って.....	2
冬の間の動物たち.....	3
動物園グラフ(芸に身を入れるチンパンジーとゴリラ).....	4・5
動物こぼれ話.....	6
動物園ニュース.....	7

冬の間の動物たち

今年もまた寒い冬がやってきました。動物園の動物たちはどうして冬をすごすのでしょうか。ペンギンやしろくまなどの他はたいがい寒さが嫌いな動物たちです。ここで少しお話してみましよう。

9月下旬になると、夏の間暑い日射をさけるために各動物舎にしていた“よしず”を取りのける作業をします。もうぼつぼつ日なたも恋しい季節となってくるのです。10月は“天高く馬肥ゆる秋”とかいわれるさわやかな秋の日があるかと思えば、女心と秋の空といわれて天気も変りやすいときでもあります。

10月も下旬になると朝晩は冷え込みますし、この頃が動物にとっても感冒などの病気の多い季節なのです。

例年10月1日にはボイラーの火入れを行い、各動物舎の暖房をするスチームを送る準備をします。

まず一番寒さに敏感なのは、爬虫類です。室温が20℃をわるととたんに食欲がでなくなってしまいます。1度スチームを入れはじめると翌年までずっと入れることとなります。途中で暖かい日があっても、調節しながら送りつづけます。

次が類人猿ですが、オランウータンやチンパンジーの幼獣がいる部屋が最初に入られます。おとなになったチンパンジーやゴリラはずっと寒くなった11月中旬頃からベットの下のスチームを入れてやります。

11月になると、キリン舎にも電気暖房が入ります。これは温度と湿度を自動的に調節できるようなヒーターで、室温を14℃に維持しています。キリンも寒さには大変弱いようで、冬の間、朝は日が高くなり外気温が上がる10時すぎから屋外に出し、午後は3時すぎに屋内に入れてやります。酷寒期にはそうしてやらなければ、ねごとと屋外との温度差が大きく、キリンの健康によくありません。

サイも熱帯の動物ですから寒さが苦手です。しかし、日本の冬になれて大きくなってくると雪の日でも外に出て走りまわります。やはり、夜は電気のヒーターで温風を送り、室温は18~22℃に保っています。

ゾウは大きくなった春子やゆり子は、もうずっと真冬でも暖房はしていません。12月から2月までねごやのシャッターを閉めてやるだけです。大きな象の体温で広いねごやも暖かいくらいです。

ライオン・トラ・ヒヨウなどは赤外線ランプが各部屋についていて、酷寒期にはつけてやります。その他11月頃からは、ねわらをしいて温かくしてやります。

オオアライクイは、南アメリカの動物ですから、寒がりやです。これには、パネルヒーターといって90cm四方のマットの中に電線をうめ込んだものをしいてやるのです。

カバは、水の中にいることが多い動物ですが、当園のように上水道を利用していると冬の間水温が非常に下ります。室内プールにためたこの冷たい水を16℃にまで温めるとは大変で、ボイラーもフル運転となります。カバはプール内で便をするのですぐ水が汚れてしまいますし、臭気もひどく5~6日で水をかえてやらなければなりません。

冬の動物舎の指示温度表

カバ舎	{ 室温 12~16℃ 水温 12~16℃
ワニ舎	
は虫館(にしきへび)	室温 22~25℃ 水温 23~25℃
小型へび	25~30℃
しろうがめ	22~30℃
チンパンジー	25~27℃
オランウータン	18~22℃

(樽本 勲)

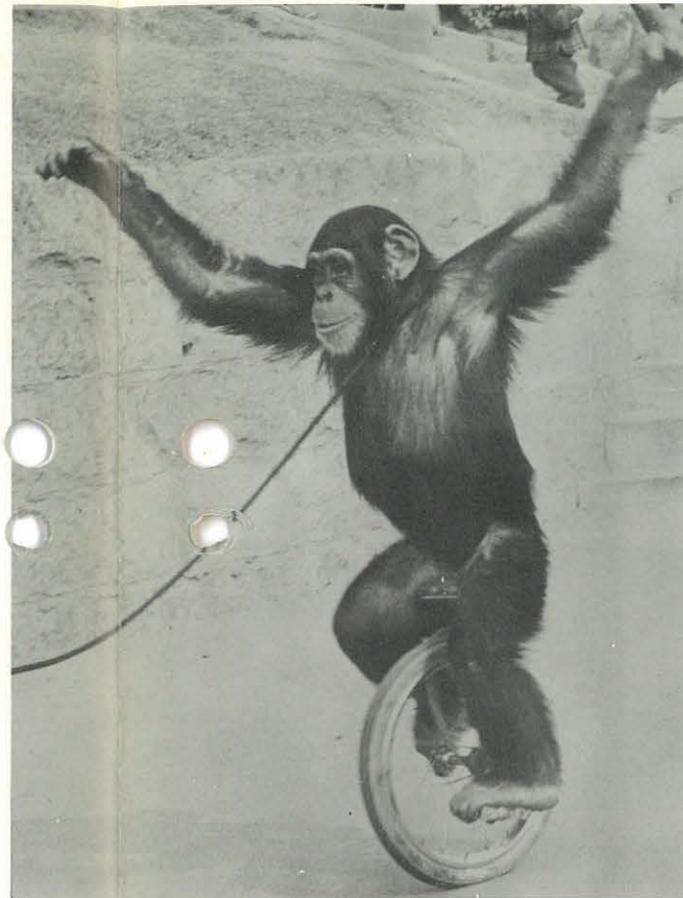
動物園グラフ

“芸に身を入れるチンパンジーとゴリラ”

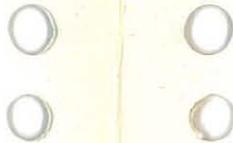
チンパンジーのよう子ちゃんは、動物園まつりのステージで、人気ものですが、毎日一輪車乗りの練習もかかしません。また、ゴリラのゴロちゃん ラリちゃんも芸をならったり、きびしいしつけを受けています。

ここでそのスナップをご紹介します。

チンパンジー

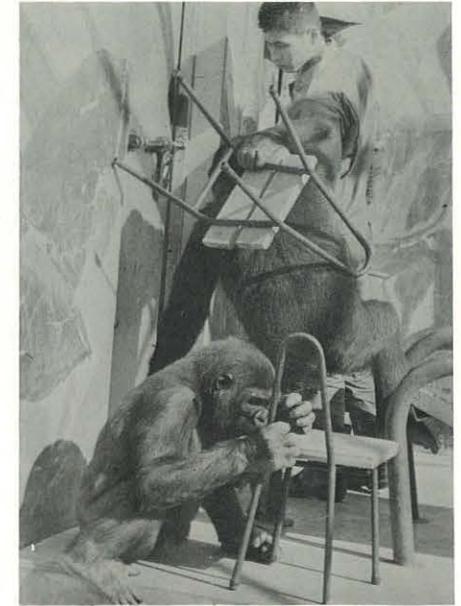
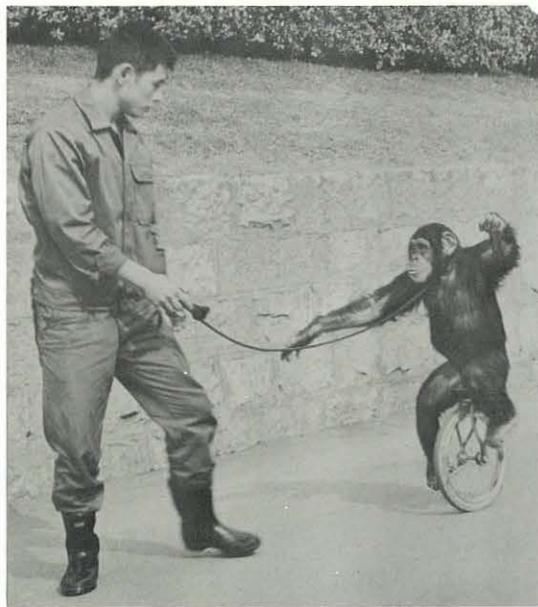
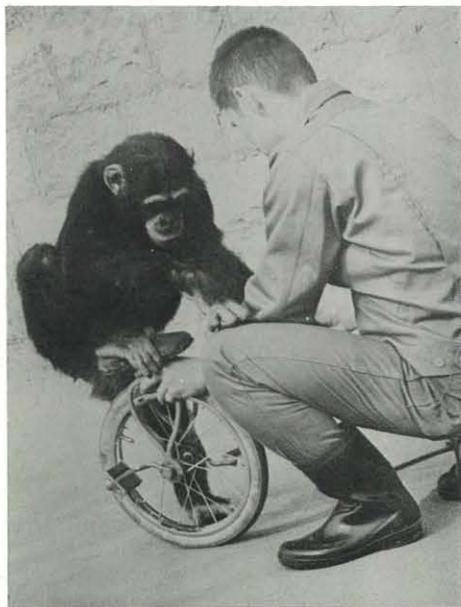


↑ “上手 上手”
バランスをとる手も、胴についてきました。



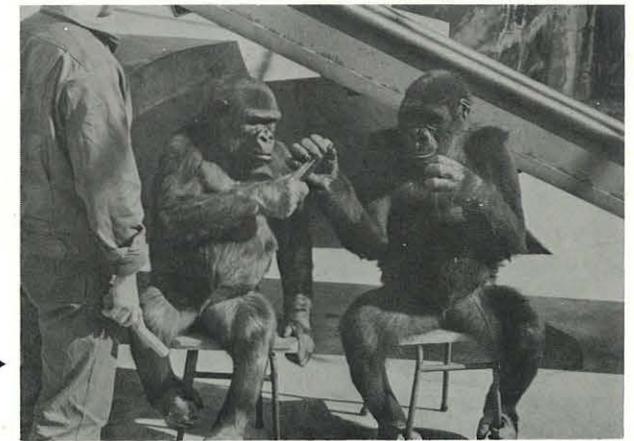
← オットト……
真剣な表情のよう子ちゃん。

さあ乗って!!
練習をはじめるチンパンジー
↓のよう子ちゃんと大野さん。



↑
演技の小道具や、椅子も、自分たちで
しまいます。
“やれやれ終りか”

ゴリラ



← ハーモニカの練習
上手にふけるよう
になりました。

10月の動物園日記

1. ボイラーの火入れ式を行い、冬の暖房の準備OKです。
チンパンジーのよう子ちゃんが動物代表で式もとどこおりに
終りました。
2. 夏の間各動物舎にはってあった日除けのよしずを全部取り除い
てやりました。
4. 野犬のためハクチョウ1羽とガチョウ2羽が咬み殺されてしま

いましたので、野犬狩を行いました。

6. ハイイロカンガルー2頭の育児袋の中に赤ちゃんがいることを
確認しました。来年の春には袋から出てくるでしょう。
9. 寒さが加わってきましたので、爬虫館には早々と暖房を入れる
ことにしました。
15. 動物交換でトラの仔やライオンを出し、アメリカダチョウ、ヒ
ヨウなどを入れることにしました。
18. 読売新聞社主催の“秋の子供まつり”が園内ステージで行なわ

れました。

20. 子ゾウ舎の寝室には、ストーブをおき、いつからでも暖房がで
きるようにしてやりました。
22. 南園のニホンシカ6頭の角を切ってやりました。秋になるとお
す同士が角突きをして傷をすることが多いからです。
25. “秋の動物園まつり”の第1日で、キャットショウやステージで
の催物の他、動物の飼い方、健康相談を行いました。
26. キーウイは、ブドー虫をよく食べることがわかりました。

トラが斗争のため1頭がかなりのひっかき傷をつくってしま
いましたので、治療につとめています。

27. 馬舎がみすぼらしくなっていましたので、とりこわし、ト
カラウマなどは一時収容舎づまいとなりました。
28. キーウイにと連日ミミズの寄贈がたくさんあり、係を喜ばせて
います。

動物こぼれ話

★ハーレムを作る動物たち

動物にはハーレムを作るのがたくさんいます。これは、1〜2頭のオスが多くのメスを率いて集団を作る事をいいます。動物園の動物達も例外なく、この現象が見られ、特にカモシカ園では、エゾ鹿、ハナ鹿、ブラックバックに見られます。特に愛のシーズンになりますと、リーダーとその地位を狙うリーダー補佐が激しく闘いケガをするカモシカ君が絶えません。それで動物園では群にオスが多過ぎる場合ケガをしないうちに珍しい動物と交換するようにしています。

(葭谷文彦)

★やきもちをやくインコ

今、小鳥舎には、フクちゃんというコパタンと、ポコちゃんというアオボウシインコがいます。2羽とも人によくなれているのですが、どういうわけか、ポコちゃんの方は、すごくやきもちやきなのです。フクちゃんをかごから出して、かわいがると、耳がいたくなるほどさわぎたて、そして、人がないような声をだしておこるのです。インコが、やきもちをやくなんて、かわいいですね。

(農本武志)

★人まね？ さるまね？

人は、さるが人のまねをするのをさるまねなどと、言いますが、今チンパンジー舎にいるメスのチンパ

★オリックスのシャドー・ボクシング

ボクシングの練習にシャドー・ボクシングというのがあります。オリックスの坊やも成長するに従いカモシカ園内にある植木に向かって、盛んに角突きのフットワークの練習をしていました。オリックス君にしてみればシャドーボクシングの様なものだったのでしよう。しかし、大きくなるに従い他のカモシカ君と角突きをするようになり今では、お母さんと同じ位大きくなり係員にも角突きをしてくるようになりました。しかし、係の人はオリックス君のたくましい成長ぶりに目を細めて喜んでいました。

(葭谷文彦)

ンジーのパンジーちゃんは、最近自分のふんや、投げこまれた石などを、入園者めがけて投げるようになり、飼育係のおじさんを、こまらせていますが、もともとこのいたずらは、心ない入園者のいたずらを、まねただけなのです。チンパンジーにまねられるなら、もっといい事を教えてほしいものですね。

(農本武志)

表紙の写真説明

“ライオン”

エチオピアからやってきました。最初は足が弱くて育つかなと心配していましたが、今ではこの通り、立派になりました。

耳が大きく、前肢も大きい。毛の色もや、茶色い。どんなたてがみが、でるかたのしみです。

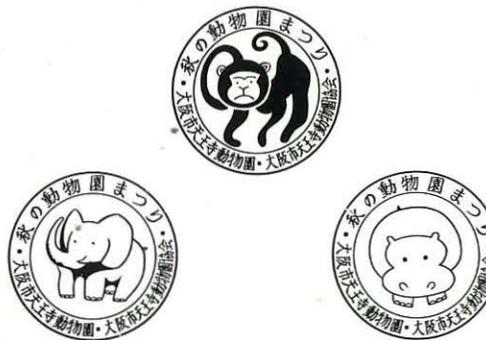
動物園ニュース

☆“動物園まつり”から



10月25日から“秋の動物園まつり”が始まりました。今年の日曜祭日は好天に恵まれてかなりの入園者でにぎわっています。先着 500名のよい子たちに、小鳥のあたる抽選や、動物の人気投票、よい子たちの遊戯や、チンパンジーの演技など多彩な催物で入園者も一日ゆっくり楽しんでいました。

スタンプ



☆おもちゃの動物園誕生

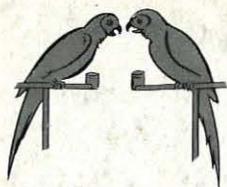


かねてから、幼児連れの方々から希望のありました「子供用の乗りもの」が、かもしか園南側ではじまりました。これは、天王寺動物園協会の肝入りで、9月13日からお目見得したもので、同協会の経営によるものです。幼児には大人気で連日盛況をみせています。

☆写生会が大はやり



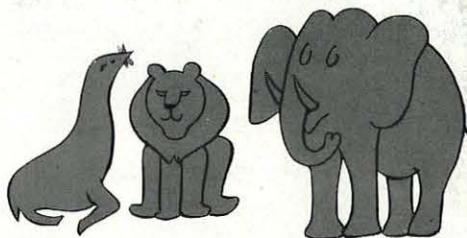
秋の動物園は小学校や幼稚園児の遠足や写生会で連日にぎわっています。みんな思い思いの動物舎の前に陣どって大変にぎやかです。自由ほん放な筆先から個性的な画がどんどんできあがっています。秋のやわらかい陽ざしに動物たちものんびりポーズをとっているようです。



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話 (078)22-8195・22-1517
飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話 (078)24-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

パイン・オレンジ・フルーツカクテル

各140c.c.=60円